

佐藤牧山 はたとら 書尾張藩儒。享和元年八月、尾張國中島郡山崎村
 生れ。明治二十四年二月十四日歿（八〇一七）。講楚材、字音用・音
 明、幼名小十郎、通稱又三郎、三右衛門。別號重齋。初の鷲津松陰、
 河村乾堂に學ぶ。文政二年昌平坂學所に入り、古賀侗庵、增島蘭園、
 依田近里に師事。八年江戸駒込で教授と業とした。のち尾張藩の儒官
 に登用せられ、侍讀に進み國事にも答へた。江戸藩邸弘道館總裁、尋
 常藩費明倫堂醫學を務め、廢藩後は名古屋で諸生を教授。更に東京に
 移り斯又學會で講じた。近藤真琴、石川素童、川口江東、淺野三龍、
 藤井猗菴、鈴木鹿山等はその門下。
 著書に『日本政記摘注』全二冊（雲詔・栗山寛校、明治九年二月愛知
 ・慶雲堂）、『老子講義』全六冊（雲詔・服部拱他十）二名校、明治十
 八年二月三日校訂序文挿入稿、愛知・三輪文次郎出版）、『牧山樓詩
 鈔』全二冊（明治二十三年七月二十六日佐藤雲詔刊）、『牧山樓遺稿』
 全二冊（明治二十四年四月八日徳島・佐藤雲詔刊）等。

